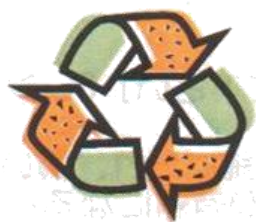


市民がつくる環境都市こまき



こまき環境広報

編集:こまき環境市民会議

ポイ捨てがまちを汚し、海を汚し、人の心をも汚しています

4Sと言われる整理・整頓・清掃・清潔は、職場や生活環境を改善することを目的とした言葉です。この4Sを身に付けることが「しつけ」であることから、いつ頃からか5Sと言われるようになりました。

「整理」とは要らないものを捨てること、「整頓」とは整えること、「清掃」とはきれいに掃除をすること、「清潔」とは整理・整頓・清掃された状態を保つことです。そして「しつけ」とは“習慣にする”ということであり、**4Sは身に付けた“習慣”の結果**なのです。



コロナウイルス禍で目立ったマスクのポイ捨て。約400mの間に14枚も捨ててありました。



すいからは、ごみの60%を占めています。

何としても、ポイ捨て習慣を撲滅しなければなりません

よい習慣づくりに役立つ「美化活動」のご紹介

○小牧市では… ※新型コロナウイルス感染症の感染拡大により中止となる場合があります。

- ① 合瀬川美化活動 例年 3月 近隣住民と合瀬川の清掃活動を行っています。
- ② 小牧山美化活動 例年 4月 桜の時期に合わせて小牧山一帯で行われます。
- ③ まち美化ウォーク 例年10月 市民会館・小牧駅一帯で行われています。

○地域では…

- ① **アダプトプログラム団体** 小牧市に登録された団体で地区ごとに活動しています。44団体（令和元年度）あり、常時会員募集しています。
- ② 「**地域3あい事業**」の一つとして行われている区会があります。
- ③ **地域の子ども会、老人クラブ**などが公園等の清掃活動を行っています。

○ご家庭では… どうすれば習慣にできるか **その秘訣を裏面に掲載**



ポイ捨てしない子を育てましょう

ポイ捨てしない生活習慣が第一歩

よい習慣も、悪い習慣も、ほとんどが幼いころに身につきます。「三つ子の魂百まで」ということわざをご存じでしょうか。幼いうちに身に付いた習慣は、生涯のものになると言われます。拾うことができるようになれば、捨てない習慣が身に付くということです。



よい習慣づくり その1



園児（3歳～5歳）の頃には、家族と一緒に近くの道や公園などでごみ拾いを体験させましょう。

拾いながら、「誰が捨てるのかな。まちが汚れるのになあ。」などと言うのです。3回も体験すれば、きっと捨てなくなります。

よい習慣づくり その2

児童（6歳～9歳）には地域のごみ拾いや、小牧市のクリーンアップ運動に家族や友達と参加してみましょう。

大勢の人が参加している姿に触れることで、子どもの意識も高まります。



（まち美化ウォーク）

よい習慣づくり その3



日々お世話になっているおうちまわりの生活道路。ごみに気付いたらすぐ拾いましょう。おうちまわりの道を「清潔」に保つことは、人や地域への「思いやり」の一つであり、いつしか子どもたちの目にも映ります。何気ない「親のうしろ姿」と言えるものです。

■清掃活動時の注意点■

- ① 3密を回避しましょう。
- ② 手袋・ゴーグル・マスクを着用し、長袖・長ズボンを着て作業しましょう。
- ③ ごみは素手で触らないようにしましょう。作業後は、消毒・手洗いをしましょう。

「快適で清潔なまちづくり」は世代をつなぐ活動なのです